

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 72 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 72 回 : 2016 年 11 月 14 日 (月) 13:30~17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 第 4 会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 石田, 岩谷, 喜多, 菅原, 小谷,
大滝 (日高代理), 黒岩, 織田 (谷口代理), 藤井 (小森代理) (12 名)
(常時参加者) 野村, 根岸 (2 名)

(敬称略)

4. 配布資料

- P4SC-72-1 第 71 回 L1PRA 分科会議事録 (案)
- P4SC-72-2 リスク専門部会等の動向について
- P4SC-72-3 今年度の講習会について
- P4SC-72-4-1 停止時 PRA 標準改定案
- P4SC-72-4-2 停止時 PRA 標準改定に係るコメントへの対応

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 12 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 71 回議事録の確認

資料 P4SC-72-1 を用いて第 71 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければこのまま正式版とすることとなった。

(3) リスク専門部会等の動向について

資料 P4SC-72-2 により, 関連する最近の状況について報告があった。

性能規定化・標準英訳については, 今後の検討内容に類似性もあることから, 技術検討と合わせて作業面でもできるだけ合理的に進めるよう考慮していくこととなった。また, 比較検討用として JIWG 経由で ASME/ANS 標準の電子ファイルが入手できるか確認する。

要望のあった対 JCNRM 窓口には, 分科会幹事を充てることとなった。また, JCNRM/JIWG で

今後議論したいテーマについては、性能規定化・標準英訳の議論をベースとし、詳細は相手方カウンターパートの活動内容とも合わせて検討していくこととなった。

(4) 今年度の講習会について

資料 P4SC-72-3 により、レベル 1PRA 実施基準と合わせて改訂版が発行されたパラメータ推定実施基準についても講習会を行うこととし、日程・開催場所等を調整した。講師は別途相談していく。

(5) 停止時 PRA 標準改定案の読合せ

資料 P4SC-72-4-1, P4SC-72-4-2 を用いて、停止時 PRA 標準改定案の読み合せ検討を行った。前回分科会でのコメント対応と附属書検討について報告があり、次のコメントがあった。

- ・表 B.1 内の行頭を調整する。
- ・図 N.1 の参考文献を調査する。
- ・附属書 G.1c) で「このような仮定の下でも」を「この場合」に修文する。
- ・「ごと」と「毎」に同様な、特に使い分けの指定のない仮名・漢字の使い方は、次回改定時の整理とする。

改定案の箇条 11 から箇条 15 及び附属書（規定）の読合せを行い、以下の議論があった。

11 人間信頼性解析（箇条 11.5 から）

11.7.1 の引用部分の全角／半角の使い分けを確認する。

12 パラメータの作成

12.3 ただし書きで「・・・場合には,」を「・・・場合,」に修文する。

13 事故シーケンスの定量化

特になし。

14 不確かさ解析及び感度解析

14.3 の主語を「・・・及び感度解析の実施」とする。

15 文書化

全般に「・」の使用状況を調査し「,」に統一できるか検討する。

附属書 D（規定）

規定本文との関係で本附属書が規定として必要か参考とした方が適切か検討する。

仮名表記のところで漢字表記とすべきところを修正する。

附属書 I（規定）

序文が「例示」となっているので「規定する」に訂正する。

「次のモデルを使用」を「次の何れかのモデルを使用」に修文する。

仮名表記のところで漢字表記とすべきところを修正する。また、「水抜」は「水抜き」に修正する。

参照している文献に立ち返り、式の書き方が妥当であるか確認する。

附属書 J (規定)

序文が「規定したものである」となっているので「規定する」に訂正する。

a) 項は参照文献の概要を記載するよう内容を改める。

b) 項の式と凡例の書式、文献を参照する箇所を調整する。また、照射時間 T_0 の実務での使い方を確認し、パラメータの説明に加える項目がないか確認する。

崩壊熱評価には ORIGEN2 コードも使用されているので、項目として追加する。

参考文献に付している「」の表記を訂正する。

(6) スケジュール

次回分科会は 12 月 19 日 PM の予定。また、次々回分科会は来年 1 月 25 日 PM を第一候補とする。停止時 PRA 標準の本報告は、来年 3 月のリスク専門部会を目標とする。

講習会は、改定パラメータ推定標準と LIPRA 標準を対象に、東京にて来年 2 月 1 日 PM から翌 2 日終日の 1 日半を候補とし、事務局と調整する。

以上